

(様式3)

## 自己評価結果票 (1Fユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>理念に基づく運営</b> <b>1. 理念と共有</b>				
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念は掲げられているが、地域密着型サービスの役割りとなるとよくわからない</li> <li>・独自の理念があり、みえやすいように、各階に掲示されている</li> <li>・認知症介護をするためにあたっての基本姿勢を理念として、とらえている。そのため、地域との関係重視の項目についてあげていない</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と交流はあるので、わかりやすい地域密着型サービスとしての理念を掲げる</li> <li>・地域密着型サービスとしての姿勢、支援の方法などを盛り込んだ理念を現在のものに追加していきたい</li> </ul>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見えるところに掲げられているので、共有はできていると思うが、実践となるとあまり取り組めていない</li> <li>・理念を念頭に日々取り組んでいる</li> <li>・採用面接時には、理念とその内容を説明し、理解を求めるようにしている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人としては取り組んでいるつもりだが、職員zんいんが日常的に取り組めるよう話し合いや働きかけをしたい</li> <li>・毎日ミーティングの際にも理念の確認をして、気持ちを引き締めてケアに取り組みたい</li> </ul>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や地域の人々と交流はあるものの、理念をわかりやすく伝える具体的な取り組みは不十分</li> <li>・月1回、生活の状況をお知らせし、来られた際には、話をするなど理解していただけるよう取り組んでいる</li> <li>・運営会議や家族会等で折り触れ話を進めるようにしてる。また、見学者にも説明するなど実施してる。理念は紙にかき廊下など目につく所に表示している</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回「春日苑だより」を発行し、家族へ発送している。また1階玄関口にもたよりを自由に閲覧できるようにしてる</li> <li>・見学に来られた方がわかりやすいよう玄関に理念を貼ってはどうか</li> </ul>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>6</b>			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に付き合いができていいのかよくわからない</li> <li>・あいさつや軽い会話はあるものの、立ち寄り関係まで行っていない</li> <li>・近隣に散歩に出かけ、挨拶をかわして顔見知りになってもらえるようにしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回か半年に1回にOPENデイを作る</li> <li>・地域の人を招いて茶話会など計画してみたい</li> </ul>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事や地域活動に参加している。老人会、お祭りなど</li> <li>・自治会に参加し、行事にも参加している</li> <li>・町内会に加入している。地域の清掃活動や祭り、敬老会での食事会、地域ボランティアによる趣味の会などに参加し、グループホーム外の人と交流するようにしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも行っているばかりなので、グループホームにお呼びする機会を設けたらと思う</li> </ul>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献  利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所が話し合いや取り組みがなされているのかわからない</li> <li>・中学生のトライアルウィークや実習生の受け入れを行っている</li> <li>・介護、福祉にたずさわろうとして様々な職種の実習生を積極的に受け入れている。また”トライやるウィーク”の地域の中学生を受け入れ、職業体験の場を提供している</li> </ul>		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価のねらいや活用方法をあまり理解できていない</li> <li>・第三者評価での課題を受け、改善し、よりよいものにしよう心がけている</li> <li>・第三者評価の内容の説明をミーティング等で受け、ガイドブック等でその評価内容、意義について理解するようにしている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価を活かして具体的な改善点をあげ、取り組むようにしたい</li> </ul>
8	運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス向上に活かしかれていない</li> <li>・あらかじめ、2ヶ月に1回行われ、通知し、連携をとり参加を求めている。家族会がまだないため家族同士との交流ともなり、活かすことができていると思う</li> <li>・家族にアンケートを実施し、サービス内容等の評価をしてもらっている。それを会議で報告し改善点等も説明し、了承を受けている。地域の代表者からも意見を出してもらいサービスの向上に努めている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス向上に活かせるよう具体的な取り組みをしたい</li> <li>・議題がないと話が出てこないことがあるので、前回の時に次の課題をあげるなど改善が必要</li> </ul>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	市町との連携  事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町とともに取り組んでいる内容がよくわからない</li> <li>・直接的なかかわりが無い為、よくわからない。運営者が関わった方は報告をミーティングなどで受けている</li> <li>・市担当者との連携はできていない</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市担当者との面識を持ち、ホームの実態や問題点を話し合う機会を設けるようにしたい</li> </ul>
10	権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度の理解に努めていると思う</li> <li>・入所されている方で成年後見制度を受けている方がいらっしゃるの、学ぶ機会が持っている</li> <li>・入居者の後見人に貢献制度についての勉強会を依頼しているが、まだ実施はされていない</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・早急に成年後見人制度等についての勉強会を開催できるように準備したいと思う</li> </ul>
11	虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徹底防止に努めているとは思えない</li> <li>・研修など受けたり、会議の場で発表があったりしている</li> <li>・認知症介護実践者研修等の外部研修に参加し、高齢者虐待防止法など学ぶ機会を持っている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・気になることがあるので、誰に相談すればいいのか、どうすれば速やかに対応できるのか考え、徹底防止に努めたい</li> </ul>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		<p>・契約に何う時は、不安のないよう十分な説明をしたい</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		<p>・認知症の利用者にも配慮と支援をし、意見をくみ上げる反映させたい</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その都度意見を伺ってはいても運営に反映できているかはわからない</li> <li>・何でも言えるように担当の職員がつき、意見を聞くようにしている。運営推進会議の前に家族のみの時間を作っている</li> <li>・意見箱を1階入り口に設置し、苦情等いつでも入れてもらえるようにしている。月1回開封し、問題点をあげて話し合い対策</li> </ul>		
16	運営に関する職員意見の反映  運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の意見が十分に活かされているかは疑問</li> <li>・会議の場であったり、思ったことなど、言える環境にあるが、反映はなかなか難しい</li> <li>・月3回程度のホーム内の会議において、意見を出し合い、それをまとめて、管理者に報告している</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人面談であったらり機会が必要な時がある</li> </ul>
17	柔軟な対応に向けた勤務調整  利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務調整はされているが、あまり余裕がない</li> <li>・勤務者の確保が難しいため、パートさんなどの協力が成り立っている</li> <li>・各ユニットごとに日勤者を最低1名は確保し配置したいと思うが、夜勤勤務や休日等で正職員数が足りなくなり、非常勤職員に頼らなくてはならない時がある</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員人数の確保</li> <li>・日勤者にユニットごとに最低1名は確保し、入居者、家族に対し、対応できるようにしたい</li> </ul>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員がコロコロと代わることがないように、配慮はされている</li> <li>・昨年に職員の入れ替わりがあり、戸惑う人もいたが、積極的に関わることにより、最小限であったと思う</li> <li>・入居者本人には、離職ギリギリの頃か、もしくは離職後に話、できるだけダメージを少なくするようにしている。家族には、あらかじめ異動を伝えておき、後任者の人柄や仕事を伝えて安心してもらい、これかわも代わらぬケアに陥りたい</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい方が入ったときなどの対応などこれまでの反省点を改善する</li> </ul>
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修を受ける機会が確保されている</li> <li>・研修など、積極的に受けるようになり、職員の意識も以前より高まるようになったと思う</li> <li>・認知症に関する研修や管理者が受けさせたい研修等の情報を職員に流し、誰かが受講できるようにしている。また職員が自己啓発のための研修、資格を取得したいと希望があった場合はできるだけ受講できるように配慮してくれている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の発表などスムーズにならないところがある。事前に会議の議題として、出きるよう取り組みたい</li> </ul>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の同業者と交流する機会があるのかまだわからない</li> <li>・取り組みができておらず、交流ができない</li> <li>・研修等で知り合った同業者と連絡を取り合いたい、お互い勤務の多忙さからか思うように実現できてはいない。可能な限り、連絡を取り、職場での問題や取り組みなど話す機会を持つようにしている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホーム会など入るなど取り組みたい</li> <li>・職員同士のネットワークづくりや勉強会、お互いの職場訪問など実現に向けて努力したい</li> </ul>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレス軽減に向けた取り組みがされているのかわからない</li> <li>・何でも言えるように交流をとっているが、十分でないところがある</li> <li>・職員の休憩場所は経営母体の特養ホームにはあるが、現状では持ち場を離れ、そちらで休憩することは不可能な状態にある。昼食等の食事休憩も入居者を見守りながらの現状で勤務時間と休憩時間の明確な区切りがない</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりでの面談など取り組みが必要</li> <li>・本館休憩所に行かないままで休憩時間には持ち場と別の場所あるいは、しきりのある場所での球形ができればよいと思う</li> </ul>
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのように個々の努力や実績を把握しているのかわからない</li> <li>・研修など受けることにより、各自、向上心が持てるよう考えていると思われる</li> <li>・年2回の賞与前および昇給前には自己評価表が配布され、自己評価の機会が与えられている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者が1日1度でもグループホームに顔を見せてくれるだけでいい</li> </ul>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p><b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・相談から利用にいたるまでの対応をまだしていないのでわからない</p> <p>・事前面談にて、生活歴、性格など情報収集し、不安を取り除けるように努めている</p> <p>・自己表現ができる入居者からは直接話を聞いた入り、日ごろの生活の様子、言動から推察し、本人の求めていることを実現するように取り組んでいる。また家族からも話を聞き、できるだけ本人に添えるように考えている</p>	<p>・信頼関係が築けるよう傾聴し、受け止めたい</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・相談から利用にいたるまでの対応をまだしていないのでわからない</p> <p>・入所前より交流し、不安なこと、してほしいことなど、聞き取るようにしている</p> <p>・契約前にできるだけ情報をまわりから集め、それをもとに話をするようにしている。家族等が今一番気になる事、困っていることを話してもらい、それにたいし、自分ができること、したいことを話すようにしている</p>	<p>・家族とも信頼関係が築けるよう傾聴し、受け止めたい</p> <p>・1度か2度の短い時間で話すのではなく、相手が納得いくまで時間をかけて話をしている</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>・他のサービスの利用調整も行われているのかわからない</p> <p>・入所申し込み時に家族さんの様子、必要性を感じるよう勤めている</p> <p>・グループホームとしてできる支援、できない事など具体的にあげて、本人、家族の望む支援に合致しているかどうかを判断出来る様に話を進めている。できる限りの情報を集め、本人、家族等に提示し、サービスを自己決定してもらえるようにしている</p>	<p>・他事業所とうまく関わっていない為、孤立になっているところがある。他の事業所とも話し合う機会が必要</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>・段階的な支援の工夫がなされているかどうかかわからない</p> <p>・見学に来られたあと、入所になってしまうと、馴染める環境ではないため、家族さんと相談時、電話をすることや入所時頻繁に会いに来てもらえるよう協力してもらっている</p> <p>・入所前の慣らし宿泊サービス等は行っていないが、短時間体験入所(家族とともに他の入居者と一緒に過ごすなど)は可能である。またなれるまでは、家族等に頻繁にホームへ出向いてもらうなどお願いしている</p>	<p>・当ホームでは、空き部屋がないため、宿泊はできないが、母体の特養ホームでのショートステイを利用してもらいながら、日中はホームで過ごしてもらい、ホームでの生活になれてもらうなどの工夫をs ちえ、できるだけいきなりホームスタートするような事態は避けたいと思う</p>



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家事、その他出来る事は一緒に行き、その中で学ぶこともある</li> <li>・日々、生活する中で、職員が溶け込むように接することや一緒に何かすることにより、信頼関係が築けるように心がけている</li> <li>・自分の子供の悩みや心配事など(認知症の人としてではなく)知り合いの年長者、おばあさんに話すつもりで聞いてもらい、アドバイスを受けたりなくさめてもらったりしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一緒に過ごす時間を大切にし、生活を共に支援したい</li> </ul>
28	<p>利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族と連絡を取り、家族にも協力して頂いている</li> <li>・頻繁に連携したり、来苑時に出勤しているときは、お話をする時間を作ることで、信頼できる関係になるように心がけている</li> <li>・家族への報告は、入居者のよいところ、悪いところを全て隠すことなく報告した上で、入居者の素晴らしい箇所を家族とともに喜び、その能力を維持できるように援助していく方法等をはなすことにしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族、入居者、職員が互いに支えあうような関係を築いていきたいと思う</li> </ul>
29	<p>利用者と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の様子を家族に伝え、連絡をとり、交流の機会もつくっている</li> <li>・思いが一方通行にならないように互いの意見を聞き、クッションになれるように努めている</li> <li>・良好な家族関係がある入居者には、入居者の日ごろの状態を来所時に細かく報告し、安心してもらえるようにしている。家族関係が疎遠になっている入居者には電話等で連絡をとったりホーム等の行事に参加を促したりしている</li> </ul>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	馴染みの人や場との関係継続の支援  利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出の機会はあるが、行きつけのなじみの場所や人に会いに行ったりはあまりできない</li> <li>・できていないと思う。住んでいた場所を離れてしまうことにより、途切れてしまっている。一部の方のみ関係がある</li> <li>・認知症はかなり進んでいるため、なじみの場所、人には行き来がないが親戚等に会いに来てもらったりすることはある</li> </ul>		・以前住んでいた場所など訪れるなどしてみたい
31	利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・孤立しないよう間に入り、お互いが理解できるように努めている</li> <li>・入所者の方々の記録や日常の観察し情報収集している。職員が一緒な時、必要でない時を見分け、関係が上手くいくように努めている</li> <li>・個別で話を聞いたり、気の合う同士で食事へ行ったり、レクリエーションに参加してもらうなど、入居者同士の関係がうまくいくように職員が情報交換しながら入居者の調整役となっている</li> </ul>		・言葉数が少ない利用者の代弁をしたり、説明をしたり、間に入り、一緒に楽しめるようにしたい
32	関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終了後のフォローができていないかわからない</li> <li>・断ち切れてしまっていることもあるので、改善が必要</li> <li>・当ホームから入院等で契約が終了した元入居者との関係が続く事はめったにない。母体の特養ホームに移られた場合には、時々顔を出したり、あいさつをしたりしている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に連携をとる</li> <li>・退所した入居者、家族に対し、簡単なはがき等を出して、その後の様子を尋ねたりする</li> </ul>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p align="center">. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>			
<p>1. 一人ひとりの把握</p>			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意向の把握に努めてはいるが、十分とは思えない</li> <li>・日々接することにより、何を求めているか、どうしてほしいのが、感じるように努め、改善できるように考えるようにしている</li> <li>・日々の会話の中から1人ひとりの思いや考え、希望をひろいだせるようにアプローチしている</li> <li>・意思疎通の困難な方からも言動から推察するようにし、家族等からも情報を得るようにしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニットで担当製にもなったので、より一人ひとりの思いを把握できるように本人本人になれるよう、皆で取り組みたい</li> <li>・できることが少ないことがあるので、(祝日など職員が少ない日)考慮がある</li> <li>・自分の言葉で表現できる入居者はよいが、そうでない入居者に対しては、家族からの聞き取りや本人の言動から推察し、もう一度意向の把握に努めたい</li> </ul>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居前の聞き取りや、入居後の会話の中からこれまでの暮らしを知ることができている</li> <li>・入所時に生活歴や家系図など入所までの経緯を出してもらっている。本人とも喋るなかで把握に努めている</li> <li>・入所前に家族や関係者から話を聞くようにしている。本人からの話で、生活歴を推察し、改めて家族等に確認したりして、信憑性を高めている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録をよく読み、話をしたりして、把握に努めたい</li> <li>・入所前に住んでいるところを見るのが少ないので、訪問などすることによりどのような環境でいたかなど知りたい</li> </ul>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分だけでは気付かなかった事もカンファレンスなどで、できる力やわかる力を知ることができた</li> <li>・生活リズムを知り、支援に努めている。行動などから何をしたいのか把握できるようにしている</li> <li>・ひとりひとりの行動、言葉、表情を細かく観察し、心身の状態を把握するようにしている。また介護記録等はなるべく入居者を主体にした記録を残すようにしている。またできることに注目しその能力の維持に努めている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な視点から利用者を見つめ、気付きを多くしたい</li> </ul>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間では、話し合われているが、本人、家族、必要な関係者とも、もっと話し合う機会があるとよいと思う</li> <li>・職員の意見を聞き、家族さんの意見を聞き、職員があつまりカンファレンスを行い、作成している</li> <li>・1人ひとりの入居者に対して、職員全員の日々の生活の中での気づきをもとにカンファレンスを行い、家族の意見も取り入れた介護計画を作成している。出来ない事よりできる事的能力維持を目指すような計画を作成している</li> </ul>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護計画の見直しは、行われているが、不十分かも</li> <li>・3ヶ月に1度、見直しをし、そのときの状況に合っていないものはあうものに変更している</li> <li>・3ヶ月ごとに見直しをおこない、家族に報告し了承を受けているが、心身状態の変化や新たな要望、職員の目から見て、見直しが必要であると考えられる時には、3ヶ月にとらわれず、カンファレンスを行い、介護計画の見直しをしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見直しは1ヶ月ごとの方が良いと思う</li> </ul>
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別記録ができていない</li> <li>・個人個人にファイルがあり、必要なところにファイリングされている。記録をつけることにより情報が共通される</li> <li>・日々の生活記録は、一時間ごとに記録するようにしている。事実のみを記入するのではなく、そのときの表情、しぐさ、言葉などを職員の主観をいれるのではなく、事実をそのまま記入し、情報を共有してケアに活かしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録を具体的に書けるようにする。記録をよく読み、情報を共有したり介護計画の見直しに活かしたい</li> <li>・職員により詳しくかかれていたり、おおまであったり差がある</li> <li>・記録の残し方にまだまだ問題があり、客観的な視点で書かれていなかったり、入居者の行動記録で終わっていたりするので、もっと書き方を工夫して、日々のケアに役立つものになりたい</li> </ul>
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ショート グループホーム入所。特養 グループホーム入所など、支援できているのではないかと</li> <li>・必要があるときは通院に付き添うが基本できない柔軟な支援ができない</li> <li>・訪問診察、訪問歯科、往診してくれる開業医と連携することで、入居者と家族が通院に時間をかけて負担を感じることなく取り組んでいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始めよりしないと決めていたが、認知症が進行することにより家族だけでは対応しきれなくなっているところもある。柔軟に行動できるよう支援できるような体制が必要</li> </ul>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40	<p>地域資源との協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアや色々な器官と協力はしているが、利用者や家族の意向に応じているかは分からない</li> <li>・ボランティアの参加の行事に参加したり、交流を図っている</li> <li>・地元消防署と協力して、消防訓練の参加や、小学校行事への参加。ボランティアにより編物教室に行ったりしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホーム独自では受け入れていないので、少しずつでも受け入れるようにしていきたい</li> </ul>
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他のケアマネやサービス事業者と話し合いがされているかわからない</li> <li>・他のケアマネとの交流はほとんどないが、春日苑内の支援センターなどで介護用品の購入の相談に乗っている</li> <li>・訪問美容を利用したことがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の事業所は難しいので、春日苑内でもケアマネの交流などできたらいいと思う</li> </ul>
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働している</li> <li>・家族間で必要な時など、クッション役で協働してもらっている</li> <li>・運営推進会議には包括センターの主任ケアマネが参加して、家族等の質問や相談にのってくれている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員ができていないわけではない。新しい情報などある時には、説明会など聞いてほしい</li> </ul>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	かかりつけ医の受診支援  利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かかりつけ医の往診などで対応できている</li> <li>・主に家族さんに任せているが、気になることを伝えて、良い方向になるよう努めている</li> <li>・本人、家族が希望するかかりつけ医が各々の入居者におられる。通院、受診は基本的に家族の同伴であるが、緊急の場合は、この限りではない。緊急時の搬送する病院は、入所時にあらかじめ希望を聞いている</li> </ul>		
44	認知症の専門医等の受診支援  専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が医師に相談できてい</li> <li>・詳しい方(専門医)とのかかわりがあまりないので相談などもできていない</li> <li>・入居者によっては精神科医がかかりつけ医となっている人もいるが、ほとんどは内科医との連携が多い。職員が相談できるよう認知症専門医は確保できない</li> </ul>		・相談できる方がいたらよいと思うが難しい
45	看護職との協働  利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働されている</li> <li>・一部の方のみ往診に来られるので、交流がある、意見をもらうことができるが、通院の方は難しい</li> <li>・訪問診療を受けておられる方は訪問看護師の訪問を受けておられるが、そうでない方は深夜帯に体調が変化すると家族の判断を仰ぐ事になっている。駐在の看護師はいないので、必要な時は特養の看護師に相談したりしている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体で相談できるような人がほしい</li> <li>・24時間体制で気軽に相談できるような看護職の確保ができればいいと思う</li> </ul>
46	早期退院に向けた医療機関との協働  利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携できているかわからない</li> <li>・早期に受け入れられるように情報交換している。こまめに連絡する必要がある</li> <li>・入居者の入院時には病状を家族からの聞き取り、ホームでの普段の様子を家族を通じて意思、看護師に伝える。病院からの情報は職員で共有し、退院に向けてのシュミレーションをたてるようにしている</li> </ul>		・家族さんをメインとしてしまっているの、直接連携できるような体制を作っていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が対応方針をわかっていないので、共有できているかわからない</li> <li>・そのような時期がくると家族さんと話し合いを設けている</li> <li>・医師、看護師の常駐がないため、ターミナルケア及び重度化した場合には、医療機関に任せるなどの方針は決まっている。ターミナルケア、重度化した場合などについて話し合いはまだ持たない</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・かかりつけ医の同意なども必要なため、具体的なものになってはいない。そのとき、そのときになってしまっているので、マニュアルなど必要</li> <li>・重度化した場合や、ターミナルケアを行うには、医療機関との連携が必至である。まずは事業所としての方針を決めてから、本人、家族の意思を確認する方法を決定し、医療機関との連携を考えた</li> </ul>
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討や準備は行えていない</li> <li>・話し合い、家族さんの意見、本人の意見をなるべく尊重できるようにするが、医療的なものが入ってくると難しい</li> <li>・重度、終末期の入居者を入所されるための準備はできていない</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までもここで取り組みたいと意見があったものの医療的なことでできていない。マニュアルなど用意し、スムーズに運べるようにしたい</li> <li>・当ホームで重度、終末期の人を入居させることできるのかどうかを職員で話し合い、事業所としての方針を決定した上で、準備をしていきたい</li> </ul>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	住み替え時の協働によるダメージの防止  利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	・取り組みがされているかわからない ・自宅よりグループホームに入ってこられる時は、居室に普段使っていたものを持ってきてもらい、自分の居室であると認識してもらうようにする ・移行先への入居者のプライバシーに配慮しつつ、十分な情報を伝える(ホームでの日常の様子、ケアの方針、字あ実際のケアの方法等)また、職員が移行先へ出向き話をして安心してもらうなどしている		・そのときになったら情報を詳しく伝え、ダメージを防ぐことに努めたい ・他に住み替えてはケアできないところあるので対応して行きたい
<p><b>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>				
50	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・自分では気をつけているつもりだが、全職員で具体的に確認し合うことはできない ・記録などは個別にし、保管している。声かけに倒しても関わり方も対応している ・本人のプライバシーに関することを他人の前では言わず、別の場所で言うようにしている		・管理者、常勤、パートを含めた全職員で具体的に確認し合いたい ・介助者がこうでいいと思っても、第三者が見ていれば違うと思うことがあるので、違う目が必要
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援  利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・本人が希望を出せるよう本人の希望を把握できるように努めているが、不十分 入居者さん、それぞれに声かけをかえたり、考えることをしてもらう ・入居者自身に選択してもらえるように質問を変えたり、表情を読んだりして本人になるべく自己決定してもらうようにしている		・こちらからの希望ではなく、本人からの希望ではなく、本人からの希望を引き出せるようにしたい
52	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・つついこちらの都合を優先しがち ・それぞれのペースで過ごせるようにし、外出できる時は誘うなど過ごす選択を増やす ・ある程度の時間の流れはあるが、その人の体調に配慮しながら”自分はどう過ごしたいのか”という自己決定の機会を奪うことないように取り組んでいる		・一人ひとりのペースを大切にしたい ・人員がある時は、積極的に関わりたい



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけおしゃれができるように支援している</li> <li>・服を自分で選んでもらうなど努めている</li> <li>・自分で服を選べる人には、自分で服を選んでもらい、それ以外の人は、複数のものの中から選んでもらえるよう声かけしている。本人の希望する美容院に行けないときは訪問美容を利用する等している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・続けていけるようにしたい</li> </ul>
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できてはいるが、準備や片づけをする方は決まっている</li> <li>・食事の準備を手伝ってくださる方がいるが、難しい人もおり、一部の方のみとなっている</li> <li>・献立づくりは入居者の希望を取り入れながら、立てている。調理から片づけまでを職員が声かけしながら、入居者個々の能力に合わせて、一緒に行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の好みに対応する。他の方にもできることを少しでもして頂く</li> <li>・1人で多くできるように座ってしてもらえなことや味見などできることを増やしてほしい</li> </ul>
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのおものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できている</li> <li>・一部の方のみできている。お酒は好まれる方のみ、飲物は事前に何が飲みたいのか、できるものを提示し、選択してもらっている</li> <li>・禁酒、禁煙が基本であるが、特別な日や行事にはおとそやノンアルコールビールなどの提供をし、喜ばれている。おやつは食べたいものを個人で購入してもらっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時々できるものが少なくなることがあるので、常時できるようにしていきたい</li> </ul>
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できている</li> <li>・一日のリズムをさぐり、パターンの把握に努めている</li> <li>・排泄チェック表をつけることによって、各々の排泄パターンや習慣を把握する。それを日々のケアに応じて、なるべくトイレでの排泄ができるように取り組んでいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄パターンをもっと把握しよりよい排泄介助になるようにしたい</li> <li>・記録をもう少し、詳しくする必要はある</li> </ul>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
57	入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望の時間帯に入浴できるよう、楽しめるようにしている</li> <li>・好きな時間に入っていたるようにしている</li> <li>・本人の希望する曜日、時間に合わせて、入浴をすすめるようにしている。入居者の希望によっては、入浴介助をする職員がほぼ決まっているときもある</li> </ul>		・入浴剤など楽しみを増やしたい
58	安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況にに応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりに合わせた支援ができています</li> <li>・パターンをさぐり、本人に任せている</li> <li>・極端に遅い時間に起きたり寝たりすることで、体調に作用しないと考えられる限り自由に休んでもらっている。寝られない人には話しをして、時間を一緒に過ごして安心して眠れるようにしている</li> </ul>		・1人で寝るのが寂しいと言われるときに対して、考慮できるように考えたい
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家事がとくな方は家事をして、頂き、歌が好きな方には歌う機会を設け、体を動かすのが好きな方には、体操などできるようにしている。散歩なども行なっている</li> <li>・日々の中でできるよことはしてもらおうなど、それぞれに役割がある</li> <li>・入居者ができること、できそうなことを見つけ出して、やってもらうように声をかけをし、感謝の気持ちを表し、社会的役割を感じていただけるようにしている</li> </ul>		・一人ひとりに合った役割りや楽しみをもっと見つけて支援して行きたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援  職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お金の所持や使うことの支援は力に応じて支援している</li> <li>・一部理解できる人のみ持たれている。おこづかい帳をつけたり、管理を介助している</li> <li>・本人の管理能力や家族の考えによって、お金を持ってもらっている。買い物、食事代など自分で払える人には払ってもらい、それが難しい人には、職員がお金を目の前で渡し、支払ってもらうことで支払いの感覚を取り戻してもらうことをしたりする</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・買物を代理で行くことも多いので本人と同行し、選ぶ楽しみを味わっていただきたい</li> <li>・買い物に行ったときに払ってもらうなど、感覚を忘れないよう支援していきたい</li> <li>・買い物に行くときに小額のお金を持ってもらい、自分の好きなものを購入し、自分で支払うまで1人でやってもらうことをなるべく多くの入居者にやってもらいたい</li> </ul>
61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一緒に散歩等で戸外に出かけている</li> <li>・行きたいと希望があれば、支援するようにしているが、人員が少ない時にはかなえることができない</li> <li>・天気のよい日には、個々の身体状況にあわせて移動手段で近所を散歩することを週に1回は取り組んでいる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出しているが、もっと希望にそった外出も増やしていきたい</li> <li>・できないときには、かわりになるようなことを支援できるように考えていきたい</li> </ul>
62	普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠出の外出はしている</li> <li>・時々であるが実施できている</li> <li>・個別単位で車に乗って、水族館、動物園などに行っている。自分で意思表示できる人には、行きたいところの希望を聞いて家族等に相談し、実現に向けて努力している</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠出の外出もしている。本人の思いに添った懐かしい場所、行きたい場所への外出支援をしてきたい</li> <li>・外出(遠出)が難しい人には、違うことをできるようにしたい</li> </ul>
63	電話や手紙の支援  家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望があれば、その都度支援している</li> <li>・年賀状などは介助にてできているものの、電話はこちらがかける人は一部であるが、受け取ることはできるので、一部の介助をしている</li> <li>・入居者本人が希望すれば、いつでも電話はかけてもらえる。公衆電話を設置している。年賀状の宛名書きなど文字が書ける人にはどんどん機会を設けて力を発揮してもらっている。外部からの入居者宛の封書等は家族等にそのまま渡している</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・レクで手紙を書いたりできるので、送ってみたい</li> <li>・年賀状のみではなく、四季折々の絵手紙などにも入居者と一緒に挑戦してみたい</li> </ul>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
64	家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつでも気軽に訪問して頂いている</li> <li>・家族さん、知人さんに聞いてみたり改善している</li> <li>・基本、時間は朝10時から夜8時ごろを面会時間としているが、あまり強制はなく、自由に家族等はホームに入出入りされている。「職員はいつも忙しそうで声をかけるのに気がつかってしまう」との声も家族からある</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートをとっているのですが、そのような細かいところも聞いてみたい</li> </ul>
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束について話し合い、取り組んでいる</li> <li>・拘束はしていない。学んでいる</li> <li>・日々のケアの中において介護者が拘束を気づいていない「拘束」があるのではないかと会議で話し合い、拘束に対する意識を高めようとしている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからはもしないように努める</li> <li>・高齢者の権利擁護や身体拘束についての意識を高めていく為の勉強会を実施し、自己のケアを振り返ってみる</li> </ul>
66	鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鍵をかけないケアは取り組めていない</li> <li>・10時～18時の間には、外から入ってこれるが内からは錠がないと出れない</li> <li>・以前入居者が外へ出てしまったことやベランダを勝手に歩いてたことから玄関に自動ロックがかかっている。鍵をかけることで入居者の行動を制限している事は理解しているが、現実問題として、職員の見守り体制を見直さなければ鍵をかけないケアは実現できない</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全性はあるので、ある程度の錠は必要であると思う。家でも錠はかけるので、その考えがあるため改善点は難しく思う</li> <li>・入居者1人ひとりの外出したくなる時の癖や傾向をつかんで、外出をとめないで安全に暮らしていけるような援助が出来ないかを考えてみる</li> </ul>
67	利用者の安全確認  利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全確認には配慮している</li> <li>・巡回したり、各階に職員を配置して、所在、何をしているのかなど確認しているが、居室内になると死角ができてしまっている</li> <li>・職員は入居者が見疲せる位置で入居者の状況を把握するようにしている。夜間は2人体制の為、1人はモニターで入居者の通るリビングや老化の様子を見ながら、入居者の安否確認している</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中でも居室の巡回がいる。1時間に1階でも回るように心掛けている</li> </ul>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
68	注意の必要な物品の保管・管理  注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険な物は手の届かない所、目につかないところに保管し、危険を防ぐ取り組みをしている</li> <li>・はさみなど持っている人の確認をし、把握している。他の方は、見守りや使いたいときに声をかけてもらうようにしている</li> <li>・入居者の安全、生命を脅かす頻度の高いものから嚴重に保管するようにしている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者全員に声をかけているが、かくし持っている人がいたりするので、管理の徹底がいる</li> </ul>
69	事故防止のための取り組み  転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故やヒヤリハットの報告などをして、再発防止を検討している</li> <li>・ヒヤリハットや記録に残し、問題点や原因をわかるようにしているが、不十分なところがある</li> <li>・ヒヤリ報告書、事故報告書を作製し、事故防止策をみなが話し合い、対策を徹底するように努めている。また家族への報告も対策会議後すぐに行うようにしている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットをたくさん出るような環境作りが必要。たくさんできるようにしていきたい</li> </ul>
70	急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に行っている</li> <li>・全員が救命講習を受け、知識があるが、実践ではあまりないので、心掛けている</li> <li>・消防署の協力を得て、心配蘇生法の講習を夜勤に従事する全てが受けている。事故発生時、急変時のマニュアルを壁に貼っていつでも見れるようにしている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員、家族、医療と連携できるようにマニュアルを読み返すなどしていきたい</li> </ul>
71	災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練を定期的に行っている</li> <li>・避難訓練などしているが、訓練で終わっている</li> <li>・消防署の協力を得て、夜間を設定して、避難訓練、消火器の使い方などの訓練を定期的に行っている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践でやったことがないので、地域としてはどうするかわかる必要がある</li> </ul>


	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族等と話し合いがなされているかわからない</li> <li>・あらかじめリスクになりえることは説明している。その中で対応している</li> <li>・個々の入居者におけるリスクを家族等に説明し、リスクの起きる危険性やホームでのリスクを防ぐ工夫等説明し、納得を得るようにしている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかなか家族に理解してもらえないこともあるので、話し合う時間が必要だと思う</li> </ul>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調変化等、早期発見できるよう気をつけている</li> <li>・毎日接する中で、バイタルチェックや行動の変化など気をつけている</li> <li>・バイタル等の変化から得られる情報に頼るのではなく、普段の様子と違うと感じたときには、申し送り等によって、全員が情報を共有できるようにしている。家族には、その都度連絡し、場合によっては、訪問看護師の訪問や病院の受診等につなげるようにしている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を共有し、対応ができるように、申し送りやノートを活用したい</li> <li>・かかりつけ医がいるが、大きな病院の時は難しく、家族に連携できるよう関係をつくりたい</li> </ul>
74	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副作用など理解できていないこともある</li> <li>・服薬管理表をつくったり、個人の日常日誌に処方箋をはさんだりわかるようにしてりる</li> <li>・お薬の説明下記を個々の介護記録に添付し、いつでも閲覧できるようにし、それを見て、確認もしたりする。服薬変更や、服薬の伴う変化を観察する必要がある時にはその都度連絡帳にて職員が情報を共有できるようにして、間違いなく服用できるようにしている。また服薬チェック表も使用している</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりが服用する薬について、もっと理解し、医療者に情報提供できるようにしたい</li> <li>・薬の多い人には、わからないことがあるので、わかりやすくする必要があるので。表の作成など</li> </ul>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
75	便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬に頼っているところ、多いように思う</li> <li>・排便チェックし、観察している。予防になるよう運動したり、水分を多く取るようにしている</li> <li>・水分を多く取ったり、身体を動かす腹部マッサージをするとき等の排泄を促せるようなことをし、薬はなるべく使用しないようにしている。緩下剤などの便通の薬を使っている人に対しては、排便があれば便剤を使用しないなどの薬の調整を意思の指導のもとに行って、むやみに薬に頼らないようにしている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然排便を促す工夫をしたい(水分をしっかり摂取して頂く、起床時、冷水を飲んでいただくなど)</li> <li>・日中居室で寝てばかりにならないようリビングまで歩く機会をつくりたいと思う</li> </ul>
76	口腔内の清潔保持  口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎食後はできていない</li> <li>・毎食後口腔ケアできるように声かけしたり、介助が必要な方には介助を行っている</li> <li>・訪問歯科の往診をできるだけ受診してもらい、医師による口腔ケアを継続してもらっている。入居者全員に対しては、毎食後の歯磨きがなされていない。歯科衛生士によりブラッシング指導の勉強会にも参加する</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎食後の口腔ケア、本人の力を引き出しながらの口腔ケアをしていきたい</li> <li>・しっかりした人ほど声かけが難しいが、全員ができるよう支援していきたい</li> <li>・各々の入居者に応じた口腔ケアが実施されていないので、行っていきたいと思う</li> </ul>
77	栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事や水分摂取量のチェックをしている</li> <li>・生活歴などを知り、水分量を調べているが、1日1000ml以上を目指している</li> <li>・食事、おやつごとに各人の食摂取量を5段階で記録するようにしている。また水分量も記録し、職員が情報を共有している。また食事摂取量の少ない人には、好物の一品を出すような献立を考えたりしている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・水分量の制限が必要な人にも対応していきたい</li> <li>・食事の献立表を栄養士に大まかなカロリー摂取量、バランスをチェックしてもらい献立を立てる目安にする</li> </ul>
78	感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り決めはあるが、きちんと実行されていないこともある</li> <li>・独自の間ミユあるがあり、各階に配布されている。また手洗いうがいをこまめにしたい</li> <li>・感染予防委員会のメンバーとして参加し、感染症に対する予防、早期発見等の知識、情報を得るようにしている。感染症に関して、情報収集と情報周知を職員に徹底している。家族の同意を得て、職員とともにインフルエンザ予防接種を受けている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症予防についてきちんと実行していきたい</li> <li>・外部からの持込がないように手洗い、うがいなどを徹底をしたい</li> </ul>
79	食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理方法等、取り決め実行されている</li> <li>・台所用品など使う前に熱湯消毒するなどしている</li> <li>・またいたは熱湯消毒、付近は毎晩塩素漂白している。食材の残りは冷凍したり、処分したりしている。鮮度には気をつけ、消費期限、賞味期限は常に確認している。毎晩冷蔵庫と冷凍庫の点検を行っている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員ができているか、把握が必要</li> </ul>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> (1)居心地のよい環境づくり			
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プランターに花等植え、親しみやすくしている</li> <li>・出入り口に急なスロープがあるた、え車椅子の出入りが危ない</li> <li>・玄関には、植物のプランターを置き、季節の花で訪問者を迎えている。時季にあわせて、玄関先に飾り付けをして、季節感を出す工夫をしている。玄関を入れて風除けを入ったところにソファをおき、いつでも座ってくつろげるようにしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が付き添うなど人間的な介助が必要</li> </ul>
81	居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節感などは採り入れている</li> <li>・環境に変化がないので、季節感が感じられにくい</li> <li>・リビングの横にはカウンターを設け、カウンターごしに話しができるようなつくりになっている。リビングの後ろには和室が設けられており、こたつが置いてある共用の廊下には、入居者の作品や季節感のある飾りもの等がかけられている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・壁に貼られている古い掲示物や折紙などの飾りは片付け、自宅のようにくつろぎの場を整えたい</li> </ul>
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居室や食席など落ち着けるように配慮している</li> <li>・独りになるには難しいと思える</li> <li>・玄関ホールE Vホールには2人座りのソファが置かれ、花台には造花、ぬいぐるみ等置かれて暖かい雰囲気を出している。食事をしているテーブルとは別にソファと丸机を置き、ゆったりと過ごせるようにしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独りになれないので、配慮が必要なので見守れるようにしたい</li> </ul>
83	居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり使い慣れたもの、好みのものを活かしているようには思えない</li> <li>・居室は本人が使われていた物をもってきてもらうようにし、心地よくなるように心掛けている</li> <li>・自宅で使っていた家具が持ち込まれている。入所の際には新しいものを持ってくるのではなく、今まで使っていた衣類等を持って来てもらい、落着いてもらう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応できる人もいるが、殺風景な人もいる。飾りつけなどして、少しでも居心地のよいものにした</li> </ul>



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温度調節は、こまめに行っている</li> <li>・こまめに換気するようにしている。温度計や湿度計をみて調整している</li> <li>・毎朝カーテンを開け、換気している。冷暖房は個々の体調に合わせて調整している。換気扇は24時間まわっており、トイレでは消臭剤と換気で臭いがこもらないようにしている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・温度計、湿度計は各個室に必要なと思う</li> </ul>
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の設備には特はない</li> <li>・手すりなどは良いと思うが、角ばっているものがあり、あぶないところがある</li> <li>・床面はバリアフリーにして、両脇の壁には手すりをつけている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・角ばっているところの保護</li> </ul>
86	わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立して暮らせるような工夫がされているかわからない</li> <li>・全部支援するのではなく、その方に合わせて、声かけをしたり、工夫している</li> <li>・混乱を生じさせるような原因を除くようにして、本人が自分の力ではんだんできるように居室の扉の絵を違うものにしていく。扉に入居者の名前を書いた紙を貼っておく</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間で統一できていないので、統一の必要がある</li> </ul>
87	建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり活かしきれていない</li> <li>・玄関まわりなど、ベランダに花を飾ったりしてるが、一部のみになっている</li> <li>・建物の外回りに植木が植えられ、緑を楽しめるようになっていく。足元にはプランターが設けられ、季節の花が植えられている。屋上にも花壇があり、ウッドデッキ等も置いてあり、日光浴など楽しめるようになっていく</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆さんが楽しんでいただけるように各階工夫していきたい</li> </ul>

(  部分は第三者評価との共通評価項目です )

.サービスの成果に関する項目 (1Fユニット)			
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	0 2 1 0	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	1 1 1 0	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	0 3 0 0	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	1 2 0 0	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	0 2 0 1	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	1 2 0 0	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	0 2 1 0	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	0 2 1 0	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	0 0 1 2	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		0	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1	大いに増えている
		2	少しずつ増えている
		0	あまり増えていない
		0	全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	1	ほぼ全ての職員が
		1	職員の2/3くらいが
		1	職員の1/3くらいが
		0	ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	0	ほぼ全ての利用者が
		1	利用者の2/3くらいが
		2	利用者の1/3くらいが
		0	ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	0	ほぼ全ての家族等が
		1	家族等の2/3くらいが
		2	家族等の1/3くらいが
		0	ほとんどできていない

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・その人にあわせ、外出の仕方をかえたり、楽しんでもらえるようにしている
- ・散歩など外出の機会を増やすよう努めている
- ・入居者と関わる時間を増やすよう心掛けている
- ・職員同士で話し合う機会を設けるよう努力している
- ・入居者家族と担当介護士が連絡をとり、信頼関係を築けるよう努力している
- ・入居者1人ひとりが毎日笑顔で明るく暮らしていただきたいという点に力を入れて取り組んでいる